

## 資料①-1

主任ケアマネ部会活動報告資料

# 主任介護支援専門員部会 報告

令和2年4月～令和3年3月  
枚方市地域包括支援センター主任ケアマネ部会

【開催状況】定例：毎月第3週水曜日 AM9:30～

会議名	開催日時	内容	参加人数
第1回	4月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	
第2回	5月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	
第3回	6月17日 (水) AM9:30～	<ol style="list-style-type: none"> <li>枚方市役所より:医師会との連携、多職種連携について 枚方市在宅医療・介護連携 電話相談窓口についてアナウンス</li> <li>各圏域の活動について:全圏域より報告施行 今年度の多職種連携研究会の在り方、神山氏との連携について</li> <li>全体会で周知・報告する事 各圏域のコロナ対策、第2波に備え検討していること等 多職種連携研究会、待合室懇談会の医師会への案内は、通常通り行う。 開催については方法内容の検討が必要</li> <li>その他:認知症合同チーム活動報告</li> </ol>	20名
第4回	7月17日 (水) AM9:30～	<ol style="list-style-type: none"> <li>枚方市役所より:リハ職行為評価事業の拡充について、資料をもとに説明</li> <li>各チームの今年度の取り組みについて:【医療介護連携強化チーム】 多職種連携チラシ部会承認→決裁→9月の医師会会報に入れる 【ケアマネジメント支援チーム】:西海氏の研修について 枚方市HPの検索がし難いという→検索手順のフローチャートの作成</li> <li>各圏域の活動について:全圏域より報告施行</li> <li>全体会で周知・報告する事</li> <li>その他:認知症合同チーム活動報告</li> </ol>	16名
第5回	8月19日 (水) AM9:30～	<ol style="list-style-type: none"> <li>枚方市役所より:在宅医療・介護連携電話相談窓口のチラシ、 医介連携会議で医師会で決定、CM連絡協議会会報誌に入る</li> <li>各チームの今年度の取り組みについて 【医療介護連携強化チーム】:多職種連携チラシ完成。 【ケアマネジメント支援チーム】:市HPを市が整理し良化。 CMIに周知を行う目的で、活用方法等のチラシ作りを開始。 【認知症合同チーム】:報告</li> <li>R元年度多職種連携研究会の発表(1・2・5圏域分)</li> <li>各圏域活動について</li> <li>全体会で周知・報告する事</li> </ol>	16名
第6回	9月16日 (水) AM9:30～	<ol style="list-style-type: none"> <li>枚方市役所より:多職種連携の課題をもとに、神山氏にどのような アドバイスを頂くのかを検討。</li> <li>各チームの今年度の取り組みについて 【医療介護連携強化チーム】:待合室懇談会チラシ、11月会報に入れる予定 多職種連携については圏域発表を参考に活動内容検討。 ケアマネジメント支援チーム→HPのチラシ作り検討中。西海氏の研修は 中止の為、先方に挨拶を行う。 認知症合同チーム:医師会作成中のDVDの進捗状況報告等。</li> <li>R元年度多職種連携研究会の発表(7・8・9圏域分)</li> <li>各圏域活動について</li> <li>全体会で周知・報告する事</li> <li>その他:圏域活動報告方法変更。</li> </ol>	15名

第7回	10月21日 (水) AM9:30~	1.枚方市役所より:待合室懇談会、多職種連携、『認知症を心配しているあなたへ』のチラシの取り扱いについての報告。 2.各チームの今年度の取り組みについて【医療介護連携強化チーム】認知症初期対応支援チームと連携し、チラシ等作成してく。 【ケアマネジメント支援チーム】:毎年開催している研修を、法定外研修として開催する方法について検討。 【認知症合同チーム】:各チームと連携してチラシの作成について検討。 3.各圏域活動について 4.全体会で周知・報告する事 『法定外研修の進め方』資料を基に、北浦氏より説明。	16名
第8回	11月18日 (水) AM9:30~	1.枚方市役所より:神山氏の講演…R3.1.20(水)部会中に実施予定。 10時頃から30~40分程度(質疑応答含む) 2.各チームの今年度の取り組みについて:【医療介護連携強化支援チーム】: 昨年度は11月頃に医師会に企画書を持って説明に行ったが、今年度については、まだ企画段階の圏域もある為、しばらく様子を見る。 【ケアマネジメント支援チーム】:法定外研修…東部が開催済 【認知症合同チーム】:東香里病院、松谷病院、初期集中支援チームメンバーとの意見交換会 3.各圏域活動について 4.全体会で周知・報告する事 5.その他:地域課題カテゴリー別まとめについて。 『法定外研修の進め方』資料を基に、北浦氏より説明。	17名
第9回	12月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	
第10回	1月20日 (水) AM10:00~	1.枚方市役所より:神山氏の講演…本日都合が合わず中止。 3月17日(水)であれば可能。→全包括了承。 2.各チームの今年度の取り組みについて:【医療介護連携強化チーム】: 運営、連携上の課題、各包括入力内容で、本日のチーム会議で一覧作成。 【ケアマネジメント支援チーム】:SNS情報紹介のチラシを作成。チームで原案作成、全体に意見を仰ぎ修正を行う。 3.各圏域活動について 4.全体会で周知・報告する事	17名
第11回	2月17日 (水) AM10:00~	1.枚方市役所より:神山氏の講演…本日都合が合わず中止。 3月17日(水)であれば可能。→全包括了承。 2.各チームの今年度の取り組みについて:【医療介護連携強化チーム】: 運営、連携上の課題、各包括入力内容で、本日のチーム会議で一覧作成。 【ケアマネジメント支援チーム】:SNS情報紹介のチラシを作成。チームで原案作成、全体に意見を仰ぎ修正を行う。 3.各圏域活動について 4.全体会で周知・報告する事	16名
第12回	3月17日 (水) AM10:00~	1.枚方市役所より:枚方市在宅医療・介護連携推進事のポスター作製。 2.各チームの今年度の取り組みについて 【医療介護連携強化チーム】待合室懇談会記録入力確認。 【ケアマネジメント支援チーム】:SNSのチラシ、市で800枚印刷。 介護支援専門員連絡協議会の郵送物に同封。 3.各圏域活動について 4.全体会で周知・報告する事	18名

## 1. 総合的な方針

## ニーズ・課題(前年度)

## 1. 医療・介護(多職種)の連携を強化する。

## ①多職種連携研究会

新型コロナウイルス感染症予防のため、多職種連携研究会を開催するうえでの課題も多く、開催に至っていない地域包括支援センターもあったものの、多職種連携研究会で抽出された課題については集約し、医師会・全体会にも報告した。また開催に向けてコロナ禍の中での開催の意義も共有し、企画についても報告できた。

今年度の試みとして、部会にて昨年度の多職種連携研究会の振り返りを行い、各包括の課題や取り組みを確認し、医療コーディネーターの助言や感想を頂き、次年度の開催に向けてのステップアップにつなげた。

## ②医師会との連携

今年度も継続して医師会向けのチラシ作成を行い、医師会の会報に入れていただき、包括の取り組み、多職種連携研究会、待合室懇談会の意義の周知に取り組んだ。

## ③出前講座

医療機関へ「包括・介護保険・総合事業について」「高齢者の円滑な日常生活への復帰のために」の内容の出前講座を例年行っていたが、コロナ禍の為開催なし。

## ④待合室懇談会

医療と介護の理解を深める為、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しつつ待合室懇談会を開催し入カシートを活用して情報の共有を図った。

## 2. ケアマネジメント支援

①新型コロナウイルス感染症予防の為、市内全域に向けた研修会が中止。その為ケアマネジャーに必要な社会資源情報の周知チラシを作成した。

②令和元年度に作成した事例の活用について検討、介護保険法第4条1項の概念を理解し、自立支援の視点について考える事例への修正に取り組んでいる。

## ③その他

主任介護支援専門員更新に必要な法定外研修会を一部地域包括支援センターにて開催、開催方法等、情報共有する事で次年度以降も、各地域包括支援センターにて取りくめるよう支援体制を整えた。

取組方針・目標	
<p>医療と介護(多職種)の連携強化とケアマネジャーの資質向上に取り組んでいく一方で、今年度も介護保険法改正・新型コロナウイルス感染症対策に伴う動向等の変化に対し、柔軟かつ迅速に対応していかなければならない。前年度に確立したオンライン環境での情報網等を駆使しながら、ケアマネジャーへ滞りのない支援が行えるよう各地域包括支援センターが適宜情報共有し、地域包括的ケアシステムの構築へ向け、協同して取り組んでいく。</p>	
<p>1. 医療・介護(多職種)の連携を強化する。                      コロナ禍で多職種連携研究会の開催が難しい状況のなか、開催方法を検討し多職種が連携できるよう、新しい様式での開催も進めていく。医療機関向けに情報の発信・共有を続ける。</p>	
<p>2. ケアマネジメント支援                      ケアマネジャーが抱える多様な課題(介護保険外サービス・制度の課題も含む)に対し、解決に向けた多機関連携や情報共有の必要性、視野の広がりにつながる研修会を開催し、ケアマネジャーのバーンアウト防止を図る。</p>	

2. 取り組み内容別の方針

チー ム 名	医療・介護連携強化チーム
チー ム 構 成 員	社協こもれび、社協ふれあい、聖徳園、サール・ナート、松徳会、大阪高齢者生協
取 組 内 容	① 新しい様式での多職種連携研究会の開催を支援し、課題解決に向けて医療や専門職、各関係機関との連携を深める。 ② 医療と介護の連携をより深めるため、医療機関向けチラシ作成の継続、出前講座や待合室懇談会の開催方法や情報共有、入退院時の連携がよりスムーズに図れるよう取り組んでいく。

チー ム 名	ケアマネジメント支援チーム
チー ム 構 成 員	大潤会、みどり、安心苑、アイリス、美郷会、東香会
取 組 内 容	① 介護支援専門員が孤立し問題を抱え込まないように、他機関の情報や連携の仕方等について事例等をもとに研修会を開催する。令和3年度もケアマネジャーを参集する研修会開催は危ぶまれるため、各圏域ごとにオンラインを活用した研修会が出来るように企画する。